

子ぎつねヘレン (2005)

メディア 映画

ジャンル ドラマ ファミリー

製作国 日本

色彩 Color

時間 108分

初公開日 2006/03/18

公開情報 松竹

【キャッチコピー】

忘れないー。

あの春、かけがえのない友だちと出会ったことを。

【解説】

写真家・エッセイストとしても活躍する獣医・竹田津実氏による目も耳も不自由な子ぎつね“ヘレン”の介護記録を綴ったエッセイ『子ぎつねヘレンがのこしたもの』を基に、ヘレンと一人の少年の交流として再構成し映画化した感動物語。監督はTV「古畑任三郎」シリーズなどを手掛ける河野圭太。

春の北海道。カメラマンとして世界中を飛び回る母に置いていかれ、たった一人で東京から北海道の森の動物診療所に預けられた少年、太一。ある日、彼はひとりぼっちの子ぎつねと出会う。母ぎつねがいる様子はなく、太一はその元気のない子ぎつねを放っておかず、動物診療所へと連れ帰る。獣医の矢島はすぐに子ぎつねが目も耳も不自由なことに気づく。太一はまるでヘレン・ケラーのようなこの子ぎつねを“ヘレン”と名付け、その日から懸命にヘレンの世話をするのだった。

【クレジット】

監督	河野圭太
製作	久松猛朗
製作総指揮	迫本淳一
プロデューサー	石塚慶生
	吉田繁暁
	榎望
	井口喜一

原作 竹田津実

『子ぎつねヘレンがのこしたもの』（偕成社刊）

脚本 今井雅子

撮影 浜田毅

美術 瀬下幸治

編集 田口拓也

音楽 西村由紀江

主題歌 レミオロメン

『太陽の下』

照明 松岡泰彦

録音 郡弘道

VFXプロデューサー 佐藤高典

助監督 杉山泰一

出演

大沢たかお	Takao Osawa	矢島幸次
松雪泰子		大河原律子
深澤嵐		大河原太一
小林涼子		矢島美鈴
田波涼子		山口先生
阿部サダヲ		派出所の警官
吉田日出子		森に住む謎の老婆
藤村俊二		上原教授